

(第2号様式)

普天間第2247号
平成30年3月16日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立普天間学校
校長 久場 政彦

平成29年度県立普天間学校学校評議員について(報告)

平成30年1月4日付け教県第1854号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	成29年6月21日(水) 16:00~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議員5名
第2回	日時	平成29年11月29日(水) 16:00~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議員3名
第3回	日時	平成30年3月16日(金) 16:00~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議員3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校の現状と課題に関する意見
- ②進路指導に関する意見
- ③生徒指導に関する意見
- ④学校評価に関する意見
- ⑤その他学校の教育活動に関する意見

3 学校評議員の意見

- ①登下校時に生徒の挨拶がすばらしい。普天間高校の文武両道をさらに進めてもらいたい
- ②1年の取り組みがとても良い。2年は落ち込むので、国公立希望者が希望がかなうように部活が思いきりできる、勉強と両立できる生徒を育てて欲しい。
- ③国公立100名突破が一つの指標になる。早期の進路希望決定のために、意識付けに取り組んで欲しい。
- ④生徒や保護者が誇りを持てるよう新聞に載るニュースが増えて欲しい。
- ⑤次年度から始まる学力向上推進研究モデルを是非成功させてもらいたい。

4 学校運営に反映した事項

- ①生徒の自学自習習慣の確立を目指して「ドリームノート」を導入
- ②行事の際、新聞社の通信員との連携を密にし、外部発信を積極的に行った
- ③より高次元の「文武両道」の実践のため、休日の部活動時間のガイドラインを設定

5 課題その他

- ①部活動と家庭学習時間の両立
- ②3カ年を見通した進路指導及び基本的な生活習慣の確立
- ③新学習指導要領及び高大接続改革の研究